

2019年7月17日

輸送動向について（2019年6月分）

1. 輸送概況

コンテナは、エコ関連物資が関東地区の建設発生土輸送が順調に推移したことから前年を上回ったものの、食料工業品は東海・関西地区発九州地区向けの清涼飲料水が低調に推移し、化学工業品、化学薬品は米中貿易摩擦の影響により中国向けの輸出関連を中心に大幅な減送となった。また、積合せ貨物は関東地区発北海道・九州地区向けで荷量が減少したほか、農産品・青果物は東北・新潟・北陸各県から関西・九州向けの民間流通米が低調な荷動きとなった。さらに月末に大阪地区でG20サミット開催に伴う大規模な交通規制が行われたことも重なり、コンテナ全体では前年比96.4%となった。

車扱は、石油が梅雨時期の降水量増および気温低下に伴ってガソリンの需要が落ち込んだことから、前年を下回った。一方、セメントは定期修繕期間終了後、好調な発送となった。その結果、車扱全体では前年比103.6%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比98.3%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,693	1,756	96.4%	5,181	5,410	95.8%
車 扱	627	605	103.6%	1,888	1,860	101.5%
合 計	2,321	2,361	98.3%	7,069	7,270	97.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	94	99	-5	95.1%
	化学工業品	156	170	-14	92.2%
	化学薬品	111	121	-10	91.3%
	食料工業品	307	324	-17	94.7%
	紙・パルプ	198	200	-2	98.8%
	他工業品	128	137	-9	93.7%
	積合せ貨物	233	239	-6	97.4%
	自動車部品	77	78	-1	99.9%
	家電・情報機器	36	37	-1	96.9%
	エコ関連物資	49	40	9	121.7%
	その他	303	310	-7	97.7%
	コンテナ計	1,693	1,756	-63	96.4%
車 扱	石 油	386	390	-4	99.0%
	セメント・石灰石	120	104	16	116.2%
	車 両	62	60	2	102.8%
	そ の 他	59	51	8	114.5%
	車 扱 計	627	605	22	103.6%
合 計		2,320	2,361	-41	98.3%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)